

成果物

保護者やその周囲の人を対象とした、「乳児の心理学」について学べるホームページ。
2歳までの赤ちゃんを対象に、トピックを「記憶・知覚・愛着」の3つに分けて紹介している。

URL : <http://kokoronokagaku.fun.ac.jp/kokoronokagaku/index.html>

3つのトピック

各トピックからピックアップした記事を掲載

記憶

赤ちゃんの記憶のなぞ

赤ちゃん私たちの記憶の違いは？
おなかの中にいるときの記憶って？

<赤ちゃん私たちの記憶の違い>

赤ちゃんの記憶が私たちとどのように違うのかについて調べ、ロヴィ・コリアという方の実験を紹介した。この実験は、赤ちゃんの足とモビールを結び、キックするとモビールが動くことを覚えた赤ちゃんが、後日どのくらいの期間まで同じような頻度でキックを行うか、というものである。この結果から、これから赤ちゃんの頃には私たちは長くは記憶できないものの、年齢ごとに異なる期間の間記憶を保存しておけるということを説明した (Rovee-Collier, 1997 を太田&多鹿, 2008 から引用)。



知覚

赤ちゃんの見る！

赤ちゃんの聞く！

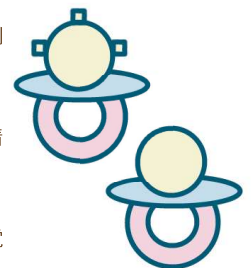
赤ちゃんの感じる！

<赤ちゃんの感じる！(複数の感覚の共有)>

赤ちゃんはひとつの感覚 (例えば触覚) で得た情報を、他の感覚 (例えば視覚) の情報として捉えることができる (呉, 2009)。

メルツォフらは赤ちゃんに表面がツルツルとしたおしゃぶりと、ポコポコとしたおしゃぶりを与える実験から、赤ちゃんが口で得た触覚の情報を視覚情報として捉えていることを示した (Meltzoff & Borton, 1979 を呉, 2009 から引用)。

赤ちゃんは口で得た触覚情報から視覚情報を得ており、2種類の感覚を共有することができているとわかる。



愛着

愛着行動

愛着の実験

愛着の型

愛着性の発達

<愛着行動ってどんな行動をする？>

赤ちゃんが特定の人との密接な関係を求める傾向は、愛着と呼ばれている。この密接な関係を求めるため、赤ちゃんは愛着行動と呼ばれる振る舞いをする。

赤ちゃんは社会的信号として、信号行動と呼ばれる行為をする。この行動は、お母さんをお母さんの方へと引き寄せる効果がある。最初の頃は泣き叫んだり、微笑んだり、意味のない言葉 (喃語) を言ったりする。少し成長をすると、呼び求めたり、特別な態度を示したりなどという行動をとる。赤ちゃんをお母さんに近付けたり、近付いた状態を維持させたりする行動、接近行動と呼ばれる行為をする。この振る舞いは、赤ちゃんをお母さんの方へと引き寄せる効果がある。

今後の展望

現段階ではホームページの評価を、学内でのみ受けている。

今後は、学外へ発信して、乳児の保護者やその周囲の人を中心にフィードバックを受けたい。